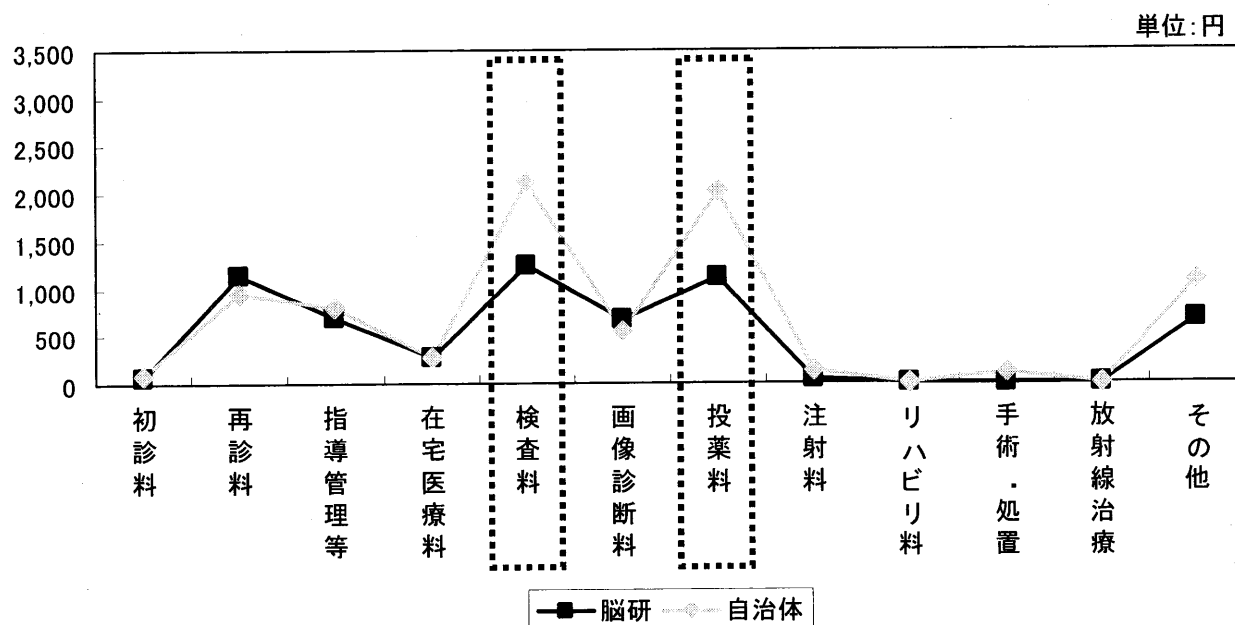


一方、自治体平均を下回る内科・循環器科は、特に検査料、投薬料の水準が低い。これは脳血管研究センターの性質上脳関係の循環器処置に特化し、また近隣医療機関との関係から通常の循環器科で実施される虚血性心疾患等の診療を行っていないためである。すなわち、今後も現状の診療内容を行う限り、患者1人1日あたり外来収益が向上する余地は少ないといえる。



<内科・循環器科>

(単位：円)

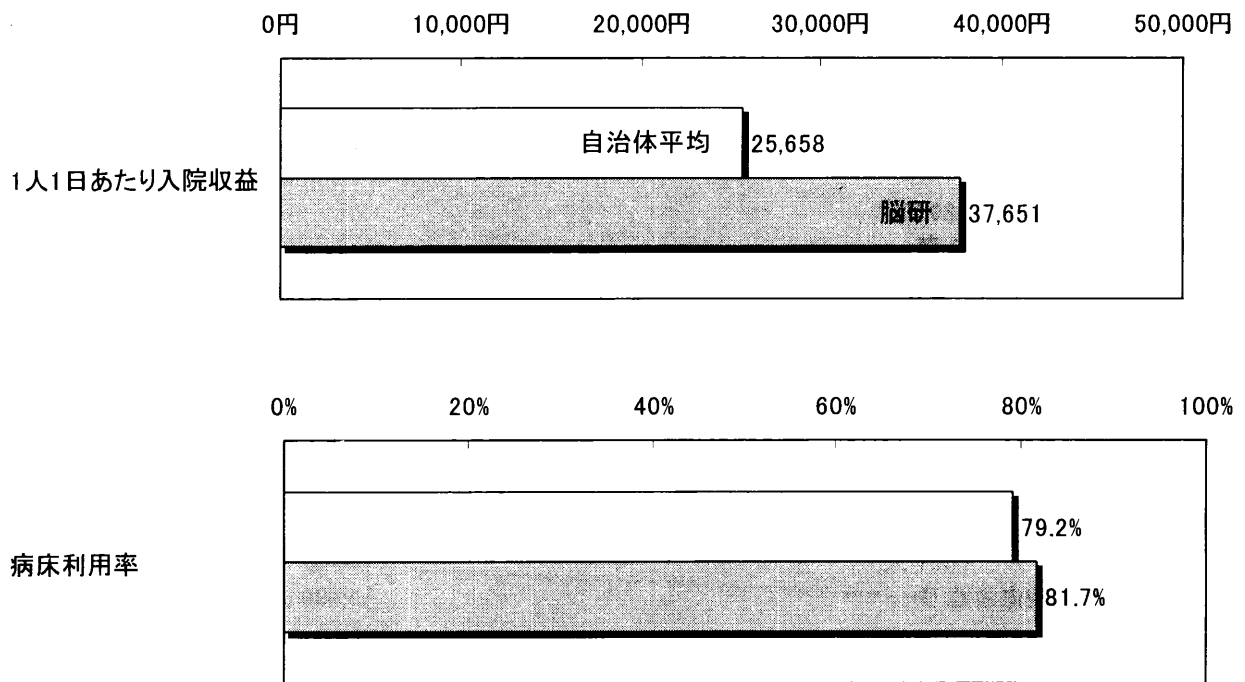
| 単価内訳 | 自治体平均 | 脳血管研究センター | 差額 | |
|------------|-------|-----------|--------|-------|
| 初診料 | 87 | 67 | △20 | △23% |
| 再診料 | 945 | 1,138 | 193 | 20% |
| 指導管理等 | 800 | 698 | △102 | △13% |
| 在宅医療料 | 265 | 281 | 16 | 6% |
| 検査料 | 2,127 | 1,250 | △877 | △41% |
| 画像診断料 | 548 | 668 | 120 | 22% |
| 投薬料 | 2,026 | 1,119 | △907 | △45% |
| 注射料 | 121 | 45 | △76 | △63% |
| リハビリテーション料 | 8 | 0 | △8 | △100% |
| 手術・処置料 | 113 | 1 | △112 | △99% |
| 放射線治療料 | 7 | 0 | △7 | △100% |
| その他 | 1,085 | 674 | △411 | △38% |
| 合計 | 8,132 | 5,940 | △2,192 | △27% |

(注)：自治体平均値は、データの都合上、循環器科の自治体平均値を用いている。

(3) 入院収益

① 患者1人1日あたり入院収益と病床利用率の比較

入院収益を患者1人1日あたり入院収益と病床利用率（注）とに分解して比較すると、患者1人1日あたり入院収益は自治体平均を大きく上回っており（+47%）、病床利用率は自治体平均とほぼ同水準である。ただし、病床利用率が81.7%ということは脳血管研究センターのベッド数120床のうち22床が空いているということであり、さらなる病床利用率の向上が必要である。



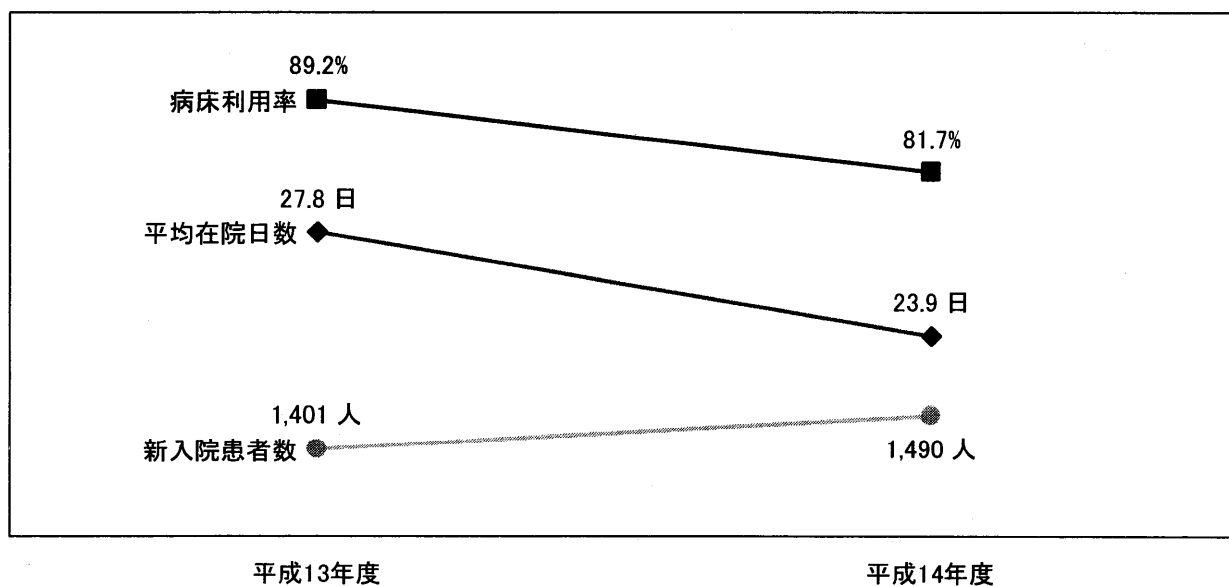
(注)：病床利用率＝延患者数÷（病床数×365日）

② 病床利用率、平均在院日数及び新入院患者数の推移

病床利用率は前年度と比べて8%低下している。これは、急性期病院として平均在院日数を約4日短縮して病床の回転率を上げたものの、新入院患者数の増加が足りず、入院延患者数が減少したためである。

監査人の試算によると平成14年度の平均在院日数（23.9日）で前年度と同等の病床利用率（89.2%）を保つためには1,634人の新入院患者が必要であり、平成14年度実績と比べると144人不足している。

急性期病院の目標となる平均在院日数は17日（注）であり、病床利用率を維持しながらそれを達成するためには新入院患者数の更なる増加対策が必要となる。

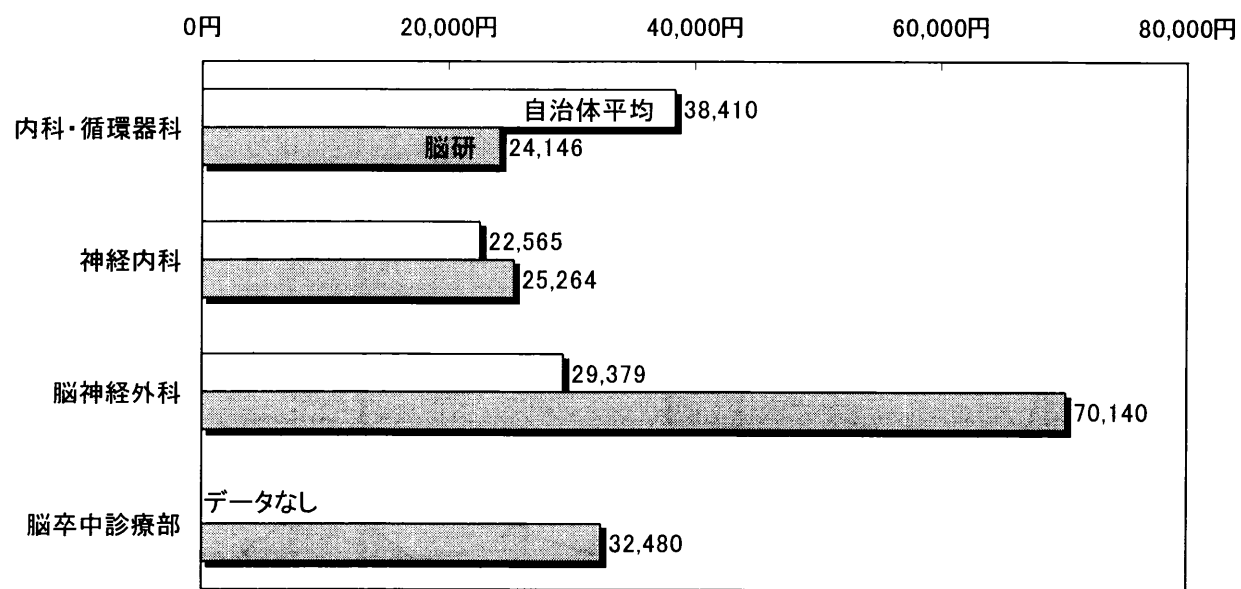


(注): 診療報酬上、急性期病院としての体制整備を評価した点数である「急性期入院加算」を算定するためには、平均在院日数を17日以内にすることが一つの要件である。

③ 患者1人1日あたり入院収益の診療科別比較

脳血管研究センター全体としての患者1人1日あたり入院収益は自治体平均と比べて非常に高い水準にあるが、各診療科別に比較すると、内科・循環器科が自治体平均を大きく下回っている（△37%）ことが分かる。

その他の診療科は自治体平均を上回っており、特に脳神経外科は自治体平均の倍以上の水準にある。



(注)：内科・循環器科の自治体平均値は、データの都合上、循環器科の自治体平均値を用いている。

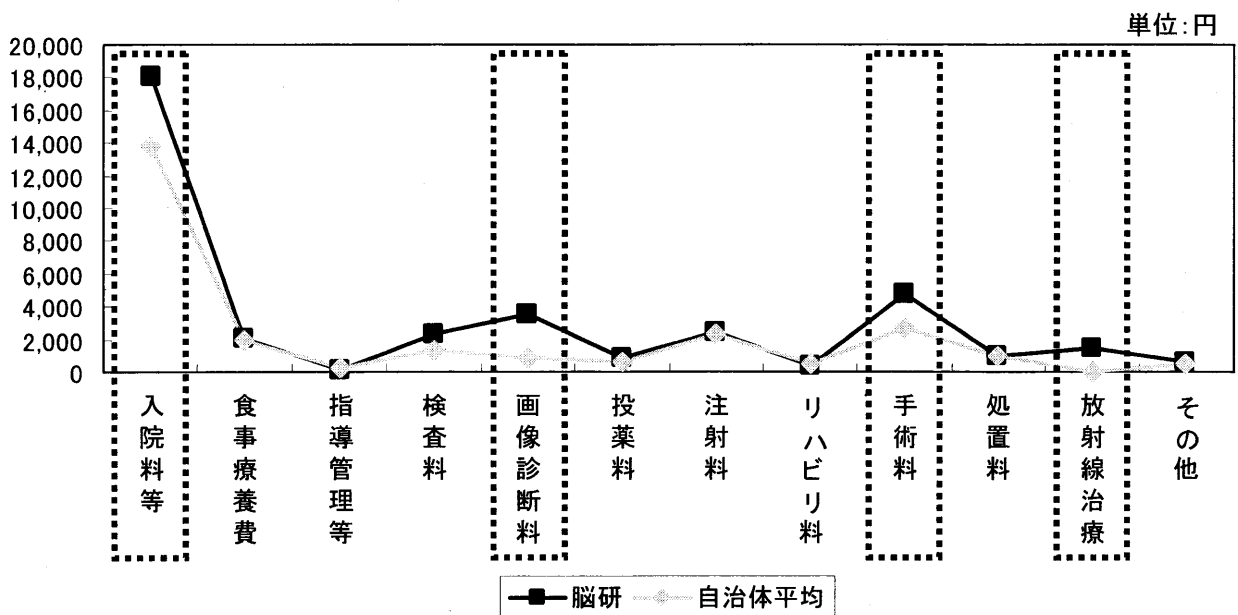
④ 患者1人1日あたり入院収益の内訳比較

脳血管研究センター全体の患者1人1日あたり入院収益の内訳をみると、

- ・各種入院料加算の取得により入院料等が高いこと
- ・PETを用いた核医学診断などにより画像診断料が高いこと
- ・専門性の高い手術の実施により手術料が高いこと
- ・ガンマナイフの利用により放射線治療料が高いこと

が分かる。これは脳血管研究センターが担う役割である「高い専門性」と「高度先進医療機器による診療」が発揮された結果といえる。

ただし、高度先進医療機器の稼働率の向上（後述）などから収益をさらに向上させる余地はあるといえる。

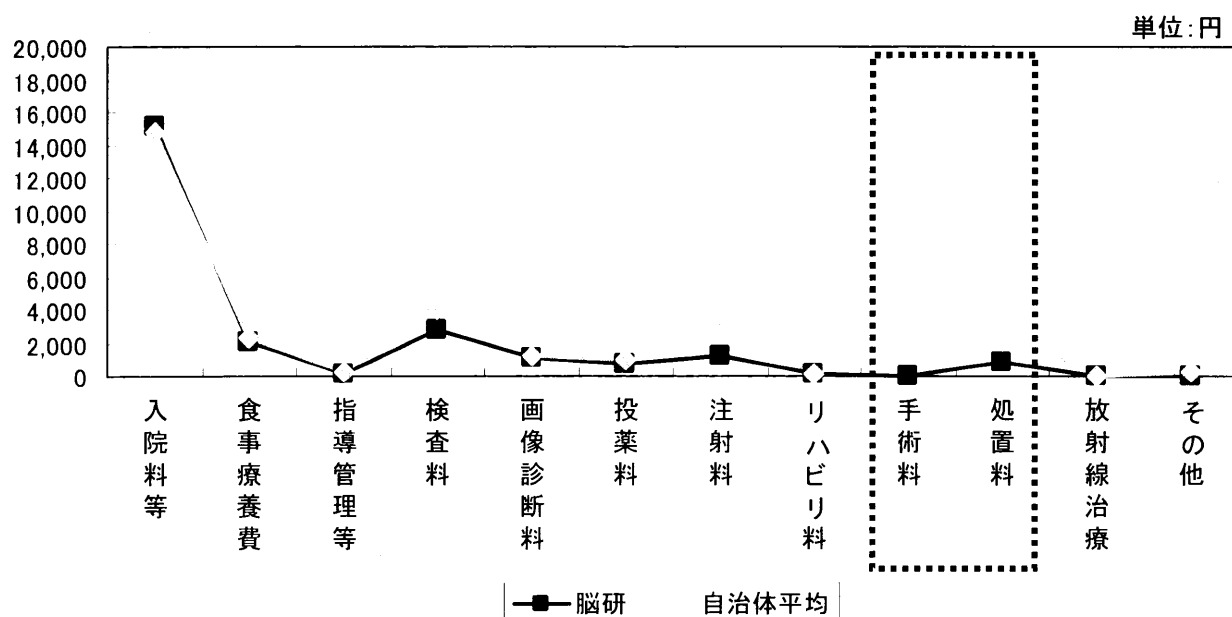


<全診療科合計>

(単位：円)

| 内 訳 | 自治体平均 | 脳血管研究センター | 差 | 額 |
|------------|--------|-----------|--------|--------|
| 入院料等 | 13,778 | 18,016 | 4,238 | 31% |
| 入院時食事療養費 | 1,995 | 2,048 | 53 | 3% |
| 指導管理等 | 217 | 106 | △111 | △51% |
| 検査料 | 1,380 | 2,308 | 928 | 67% |
| 画像診断料 | 806 | 3,563 | 2,757 | 342% |
| 投薬料 | 600 | 848 | 248 | 41% |
| 注射料 | 2,306 | 2,469 | 163 | 7% |
| リハビリテーション料 | 491 | 427 | △64 | △13% |
| 手術料 | 2,686 | 4,769 | 2,083 | 78% |
| 処置料 | 934 | 1,023 | 89 | 10% |
| 放射線治療料 | 21 | 1,443 | 1,422 | 6,773% |
| その他 | 443 | 631 | 188 | 42% |
| 合計 | 25,657 | 37,651 | 11,994 | 47% |

一方、内科・循環器科はほとんどの項目が自治体平均を下回っている。これは前述のように、通常他病院の循環器科で行われている虚血性心疾患等の処置・手術を実施していないためである。すなわち、内科・循環器科は現状の診療内容を続ける限り、今後患者1人1日あたりの入院収益が向上する余地は少ないといえる。



<内科・循環器科>

(単位：円)

| 内 訳 | 自治体平均 | 脳血管研究センター | 差 額 | |
|-------------|--------|-----------|---------|-------|
| 入 院 料 等 | 14,828 | 15,129 | 301 | 2% |
| 入院時食事療養費 | 2,283 | 2,033 | △250 | △11% |
| 指 導 管 理 等 | 226 | 87 | △139 | △61% |
| 検 査 料 | 3,983 | 2,777 | △1,206 | △30% |
| 画 像 診 断 料 | 1,265 | 1,122 | △143 | △11% |
| 投 薬 料 | 994 | 754 | △240 | △24% |
| 注 射 料 | 3,152 | 1,267 | △1,885 | △60% |
| リハビリテーション料 | 71 | 136 | 65 | 92% |
| 手 術 料 | 8,502 | 0 | △8,502 | △100% |
| 処 置 料 | 2,845 | 822 | △2,023 | △71% |
| 放 射 線 治 療 料 | 0 | 0 | 0 | 0% |
| そ の 他 | 272 | 18 | △254 | △94% |
| 合 計 | 38,421 | 24,146 | △14,275 | △37% |

(注)：自治体平均値は、データの都合上、循環器科の自治体平均値を用いている。